

普通救命講習市民受講率日本一を達成

本市では、「普通救命講習市民受講率日本一を目指し、行政と市民が一体となった救急体制の構築」の実現に向け、平成26年度末までに普通救命講習の年間受講者数が4,000人、本市の対人口比2.5%となるよう第一次実施計画を策定し、平成24年4月1日から開始しました。

平成25年3月31日現在、学校などの関係機関、並びに「消防団」、「消防協力隊」市民ボランティア団体の「ならしの救命普及市民の会」などの積極的な協力をいただき、最終目標の4千人を超える4,567人、対人口比2.8%を初年度で達成することができました。

対人口比2.8%という数値は、日本でも有数の先進市である大阪府豊中市（救命力世界一宣言）の対人口比2.4%の数値も上回っており、調査した限りでは、「普通救命講習市民受講率日本一」を達成したものと考えています

1. 受講者数 4,567人

《内 訳》

- ・中学校 1,588人（8校中8校：市立7校、私立1校）
- ・高等学校 725人（4校中3校：市立1校、県立2校）
- ・大学 317人（2校中2校：私立2校）
- ・事業所 563人（16事業所）
- ・個人等 905人
- ・市関係職員 469人

※この中には市長・副市長をはじめ市議会議員26人が含まれています。

2. 指導体制

- ① 指導員 新たに48人の指導員を養成し、378人となりました。

《内 訳》

- ・消防団 106人
- ・消防協力隊 8人
- ・ならしの救命普及市民の会 58人
- ・消防職員 206人

- ② ならしの救命普及市民の会（平成24年4月1日設立、会員数58人）

「ならしの救命普及市民の会」から指導員として延べ279人が参加し、1,525人の受講者を指導（全受講者の33.4%）しました。

③ 訓練用資器材の整備

新たに訓練人形9体やAED トレーナー8台などを整備しました。

《現有資器材》

- | | | | |
|----------|-----|-----------|-----|
| ・訓練人形成人用 | 34体 | ・訓練人形小児用 | 10体 |
| ・訓練人形乳児用 | 12体 | ・AEDトレーナー | 28台 |

3. その他

① 小学校高学年を対象とした救命入門コース（90分）

- ・本市で初めてとなる小学校高学年を対象とした救命入門コースを、9月9日救急の日にキラット・ジュニア防犯隊に所属する5・6年生31人に実施しました。
- ・その後、4つの小学校で281人の児童に実施しました。
- ・平成25年度は、全16小学校で実施します。

※ 救命入門コースとは、小学校5・6年生以上を対象とし、心肺蘇生法とAEDによる救命に必要な応急手当を学ぶ90分のコースです。普通救命講習の受講者数にはカウントしませんが、小学校から大学、社会人と、生涯教育として一貫した普通救命講習を実施して行くための入口となる大変重要なものと捉えています。

※ キラット・ジュニア防犯隊とは、市内の小・中学生（小4～中3）で構成され、平成24年度は148人の隊員が防犯啓発キャンペーン、自転車防犯診断、防犯マップの作成などの防犯啓発活動を行いました。

② 習志野市応急手当協力事業所等認定実施要綱の制定

習志野市応急手当協力事業所等認定制度を開始し、9月9日救急の日に2事業所を認定しました。

この制度は、事故などが発生した際、119番通報や応急手当などに協力していただける事業所を「協力事業所」として認定する制度で、普通救命講習の普及と救命効果の向上を期待しています。

③ 今後の目標

平成25年度以降は、継続的に年間受講者数4,000人以上を目標に計画を推進していきます。